

令和4年12月25日

関係各位

当園職員の新型コロナウイルス感染状況について

社会福祉法人 東京緑新会
多摩療護園 園長 岩谷健治

日ごろから障害者支援施設多摩療護園、地域生活相談室おあしすの運営にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、12月22日から25日にかけて入所利用者12人、職員5人が新型コロナウイルスを発症する施設内感染（クラスター）が発生しました。利用者ご家族、関係者の皆様並びに近隣住民の方及び関係機関の方々にはご不安やご心配をかけたことを心よりお詫び申し上げます。

現時点で罹患者においては、必要な方は入院治療を行うとともに、在園者には医師の処方によるパティロピット錠等の飲み薬を服薬いただきほぼ全員の解熱が確認されています。

なお、現在入所棟である3階、4階ともに居室生活として、利用者同士の接触がないように支援を続けています。幸い現時点では施設内感染は3階の利用者に限られているため、今後4階、5階の通所部門に感染拡大させないことを使命として、職員は各フロア固定として勤務しています。職員体制は、陽性者以外に家族等の濃厚接触者として自宅待機中の職員もいるため厳しい部分もありますが、利用者の皆様にご協力いただきながら、最大限の支援を継続しています。

面会に関しましては、大変申し訳ありませんが当面の間中止とさせていただきますので、ご理解、ご協力をお願い致します。再開に当たっては改めて周知いたします。

短期入所事業においては、利用中の方に帰宅いただくとともに、予定をキャンセルさせていただきます。状況をご理解いただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

通所生活介護については、3階との接点がほぼないことから感染リスクが低いと判断し当面業務を継続いたします。ただし、利用者及び家族には必要な情報提供を行い利用の可否を判断していただく体制とします。

現時点での対応は以上のおりですが、今後、状況に変化が生じた場合は改めて報告させていただきます。

以上